

KIT-KINKI活動報告

1、近畿支部（KIT-KINKI）のはじまり

平成 18 年に学科の改組が行われ、全ての卒業生を対象に KIT 同窓会が結成されました。第 1 期生卒業の平成 22 年に、関東、東海、浜松支部が発足しました。近畿地域に在住、在勤者へ呼びかけて平成 26 年 2 月 9 日に近畿支部が本格的に活動を開始しました。その後、熊本、愛媛、滋賀支部も発足しました。学科、研究室、運動部 OB 会などは、KIT 同窓会の部会として登録されています。

2、近畿支部の活動

学年、学科を越えて近隣の卒業生や在校生との交流の場となること、卒業生や在校生の活躍に役立ち、母校の発展に寄与できる活動も目指していますが、先ず組織として活動の第一歩を始めたところです。

具体的な活動として年 1 回のセミナーと総会、年 2 回のミニセミナー・懇親会を始めて三年目に入りました。セミナー講師はいずれも同窓の卒業生です。

<平成 27 年度のセミナー>

1 月に繊維分野の講演会を坂本晶子様（㈱ワコール研究員）に「ワコールのモノづくり」の題名で開催。同窓会誌「工織」に概要写真を報告しています。

5 月に、化粧品分野で藤田百合子様（ビューティードア㈱社長）に、電子分野で小川秀明様（㈱DNP ハイパーテック社長）に、都市再開発分野で末村巧様（マツシティ社長）の三名に出席頂いて、「創業・事業興し・商品開発の自慢話・苦心談」で講演と座談会を開催しました。起業への意欲、動機、そして苦勞をされた経験、その後の活動を通じて今日に至られているお話を頂きました。

10 月に、大阪市役所、日銀大阪、等多くの設計された小角亨様（㈱小角設計社長、元日建設計取締役）から「本当の建築家とは」の題名で講演を頂きました。大阪中之島の中心で代表的な中央公会堂、中之島図書館に隣接し、御堂筋を隔てて向かい合った代表建築の大阪市役所と日銀大阪支店を設計されたお話は滅多に承る機会のない内容でした。大阪市役所で採用されたレイアウトの構想、今も美しさを誇っている壁面の素材をアルゼンチンまで行かれて買付けの話などたくさんの興味深い話がありました。又、現在進められている海外(中国)プロジェクトで、総大な設計の説明など有意義なお話をありがとうございました

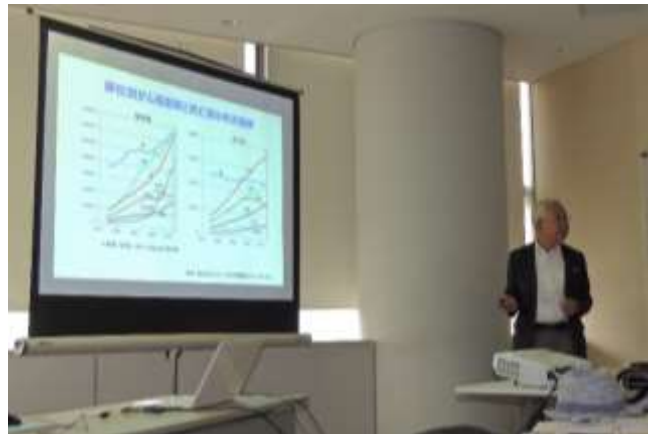
<平成 28 年度のセミナー>

1 月に、カー用品産業分野から堀江康生様（㈱イエローハット社長）に「繊維学部卒がなぜイエローハットの社長をしているのか」の題名で講演を頂きました。

その際の集合写真が左のものです
大学を卒業されてから今日までのご経験、エピソード等、貴重な経験談をお聞かせ頂きました。



7月に、医学分野から「癌と免疫の話」との題名で藤井雅彦様(㈱ワレムイ副社長、元㈱クハ代表取締役副社長)に講演を頂きました。写真は部位別癌発生率と死亡率の年次推移を説明の場面です。癌発生メカニズム、癌療法の代表的な、外科、化学、放射線、免疫療法の詳細と違い、藤井氏が開発された「クレスチン」の効能、抗がん剤の作用、原理など、その他、難しい多くの内容を易しく解説頂きました。医学の進歩は素晴らしく、体の各部位毎に画期的な抗癌剤が実用化されてきて、更に凄い効果の薬(オプジーボ、年間3,500万円の薬価)の話もありました。繊維学部ご出身が薬学分野で大会社のトップになられ、癌免疫療法の先駆者として貢献されたことに驚きでした。



12月に、スポーツ分野から「冬季オリンピックで使用されたスキー/スケートスーツの概要説明(実物展示を含む)と空気力学特性について」の題名で荻野毅様(ミズノ㈱主任研究員、工学博士)に講演を頂きました。ミズノ㈱の歴史、オリンピックスーツ設計へ参画の歴史、東京大学、京都大学で実施された風洞実験結果など多くの専門ノウハウについて紹介頂きました。縫製仕様の違いによる差は記録に明らかにあらわれていました。単純に努力だけでなくスポーツ科学の影響がいかに強いかがよくわかりました。

札幌、長野、リレハンメル他のオリンピック大会で使用された、実物スーツを

拝見、手触りしました感触は感動でした。

写真はご講演中の1シーンです。

3、お願いの件

近畿支部では、対象となる方の人数が約2万人近くになるため郵便を使用する連絡は費用面で膨大となり、メールによる配信を主な連絡方法とし、ご指定がある場合にのみ **FAX** で連絡をしております。メールアドレスが判明した方、通信手段のご希望をお寄せ頂いた方へのみの広報であり、貴方又はご友人で、今まで **KIT-KINKI** から行事案内が一度もなくして配信をご希望の場合に、下記メール又は **Fax** へ、メール送信や **Fax** 希望をお寄せ願えれば、送信リストへ追加していきますのでよろしくお願い致します。

メールアドレス : **chizuhiro58@yahoo.co.jp**

F A X 番号 : **066-614-4878**

宛 先 名 ; 河島 博

(文責 河島 博)

